

南小だより

佐世保市立吉井南小学校
No.30 R. 4. 1 2. 2 3 (金)
文責：山口伸一郎

いよいよ、2学期が終了します。

夏休み明けの、暑い暑い猛暑の中でスタートした令和4年度の2学期も、いつの間にか寒風の吹く冬となり、早いもので本日終業式を迎えました。2学期も、多少新型コロナウイルスの影響を受けることもありましたが、おかげさまでここまで大きな事故等なく、無事に終業式を迎えることができましたのは、保護者の皆様や地域の皆様のおかげと感謝しております。本当にありがとうございます。

さて、佐世保市では、今年度から新しい3学期制となりましたが、2学期も大きな混乱はなく、ほぼ予定通り教育活動を実施することができました。2学期は、それぞれの学年において、「1学期学習した内容に、更なる積み上げができるように」、「様々な行事等とおして、充実した学びを得ることができるように」等の目標をもち、子どもたちにとって実り多い教育活動となるように全職員で取り組んでまいりました。

本紙面でもご紹介してきましたとおり、「修学旅行」や「宿泊体験学習」等の学校を飛び出での学習活動、「昔遊び教室」や「三味線・落語等、本物との出会い」等、地域の方々や外部の方々をお呼びしての学習活動を行うこともでき、各学年で貴重な経験を行うことができました。どの学年も、それぞれに充実した学びを行うことができ、子どもたちの成長を実感することができた2学期であったと思います。

また、一年間の目標である「**当たり前のことを徹底してやりとおそう！**」というめあてについても、継続して取り組んでいます。「あいさつ」と「はきものそろえ」の重点目標についても、定着が感じられます。あいさつについては、少しずつ「自分から進んで、自然にあいさつができる」児童が増えてきているように感じますし、「はきものそろえ」についても、下足箱・トイレともに、頻繁に並べ直ししなければならないようなことは、ほぼありません。それでも、まだ『徹底』の徹底！までは行きついていませんので、「ありがとう」の励行と併せて、今後も継続して取り組み、皆が一層落ち着いて学校生活を送ることができることを目指して、言葉かけをしていきたいと思いをします。

いつもより少し長い冬休みが明けると、いよいよ学年まとめの3学期です。1月には、新年を迎えて新たな気持ちで目標を掲げた、元気な子どもたちと出会えることを楽しみにしています。子どもたちが安全で、楽しい冬休みを過ごせますように、ご家庭でのご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



一人ひとりの『人権』を大切にして、生活しましょう。

毎年12月4日～10日は「人権週間」となっています。本校では、今年度の人権週間のテーマを、「みんなで気づこう 自分のよさ なかまのよさ」と定め、「各学級で一人一人の子どもたちのいいところ探し」を行っています。仲間とつながることの楽しさや大切さ、自己理解や他者理解を深めることの大切さについて気づかせたいという思いで、取り組んでいるところです。

学校では、学級や学校全体における集団活動とおして、他の人と様々な関わりをもちながら、多くのことを学んでいきます。自分を主張するだけでは、けんかやいろいろなトラブルが起きてしまいます。従って、毎日の生活の中で「他の人を認め、支え合う」ということがとても大切となります。学校では、この機会に限らず、毎日の授業はもちろん、道徳や特別活動等、あらゆる教育活動を通じて、日々各学年に応じた人権教育に取り組んでいます。そして、子どもたちは、毎日の学校生活における様々な出来事を通して、人権について学んでいます。今回の取組を、『人権』の大切さについて確認する一つの契機とし、これからも学校教育活動全体とおして、皆で考え、学んでいきたいと思いをします。

